

ROUTE

54

可部バイパス

至広島市街

至三次市



可部バイパスの概要

国道54号^{*}は、広島～三次～松江間を結ぶ陰陽連絡の主要な幹線道路であり、社会経済活動に大きく寄与しています。しかし、国道54号^{*}沿道の広島市北部地域は、急激な宅地化が進み、人口が増加しました。

こうした人口増加に伴う通勤・通学交通の増加や広島県北部、山陰地域から広島都心部への通過交通等により、広島市安佐北区可部付近では、慢性的な交通渋滞が発生するとともに交通事故も多発し、都市活動に重大な影響を及ぼしています。

可部バイパスは、これらの問題を解消し、幹線道路網を体系的に整備するために計画された、新太田川橋から上根バイパス（平成2年3月開通）を結ぶ延長9.7kmの4車線のバイパスです。

なお、これまでに起点から国道191号までの2.8kmを平成8年8月に、国道191号から（県）南原峡線までの1.4kmを平成15年3月、（県）南原峡線から（市）山倉線までの1.8kmを平成19年3月に、（市）山倉線から安佐北区大林三丁目までの2.2kmを平成26年2月に暫定2車線で開通しています。

引き続き可部バイパスの4車線化事業を進め、起点から可部南4丁目（南）交差点までの0.7kmを平成26年3月に、可部南4丁目（南）交差点から安佐北区民文化センター入口交差点までの2.1kmを令和3年2月に4車線で開通しています。

■計画概要

| | | |
|-------|--------------------------|-----------------------|
| 計画延長 | 9.7km | |
| 施工区間 | 安佐北区可部南一丁目～ 安佐北区可部五丁目 | 安佐北区可部六丁目～ 安佐北区大林町 |
| 区間延長 | 2.8km | 6.9km |
| 道路の区分 | 第4種1級 | 第4種1級・第3種2級 |
| 設計速度 | 60km/h | |
| 車線 | 4車線 | |
| 標準幅員 | 40m | 40～22.5m |

■事業の経緯

| | |
|--------|---|
| 都市計画決定 | 昭和56年12月22日 平成15年2月24日（変更） 都市計画道路・八木大林線 |
| 事業化年度 | 昭和56年度 |
| 用地着手年度 | 昭和58年度 |
| 工事着手年度 | 平成2年度 |

KABE BYPASS

今回の開通により期待される主な効果

1

可部地区の渋滞緩和

可部バイパスへの交通の転換により、渋滞が緩和し、所要時間の短縮が期待されます。

2

死傷事故の減少

交通の転換により渋滞が緩和することで死傷事故の減少が期待されます。

3

可部地区の地域活性化に寄与

物流の円滑化や混雑緩和による利便性向上により、沿線地域の活性化が期待されます。

4

救急医療の支援

円滑な救急搬送がなされ、搬送時間の短縮や患者への負担軽減が期待されます。



國土交通省中国地方整備局
広島国道事務所

〒734-0022 広島市南区東雲2丁目13番28号
TEL(082)281-4131 FAX(082)286-7897
<https://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>



(無料)

道路の異状を発見したら…



#9910へ



2021. 9

■一般国道54号*の混雑状況



■一般国道54号*の交通事故発生状況



*一般国道54号可部バイパス(供用済区間)に並行する現道区間(広島市安佐北区可部南四丁目～同区大林町)は、平成28年4月1日付で路線名称を一般国道183号に変更し、広島市が管理しています。